

西田 1・2 遺跡発掘調査説明資料

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター 令和6年11月17日(日)

調査要項

遺跡名	西田1遺跡・西田2遺跡(遺跡番号:381-315・381-316)
所在地	山形県東置賜郡高島町大字船橋字西田
時代・種別	古墳・奈良・平安・鎌倉時代 集落跡
起因事業	農地整備事業(経営体育成型) 亀岡西地区
調査依頼者	山形県観光文化スポーツ部 県民文化芸術振興課
調査機関	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
調査指導	山形県観光文化スポーツ部 県民文化芸術振興課
調査協力	山形県置賜総合支庁産業経済部農村整備課 高島町教育委員会 米沢平野土地改良区 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
現地調査	令和6年6月3日から12月27日
調査面積	9,500㎡
調査担当者	専門調査研究員 水戸部秀樹(現場責任者) 主任主査 氏家信行・小林圭一 調査員 志鎌久悦・大村暖奈
検出遺構	周溝墓 池状遺構 井戸 土坑 溝 柱穴 ピット
出土遺物	石器 砥石 土師器 須恵器 陶磁器 青磁 古銭 井戸枠 曲物 鋤 骨

1 調査の概要

西田1遺跡と西田2遺跡を同時に調査しました。先に重機を使って表土を取り除き、その後は手作業で遺構を探し出して調査を進めました。数多くの遺構が見つかり、古墳時代から鎌倉時代にかけての当地の様相が少しずつ見えてきました。

2 西田1遺跡の調査成果(図2)

古墳時代の溝から土師器が出土しました(図6)。何らかの区画施設だと考えられます。

平安時代(9世紀後半)の総柱の掘立柱建物(図5)が1棟見つかりました。倉庫だったと考えられます。また、土坑からは土師器の甕が出土しました(図4)。ほかに平安時代の遺構としては、井戸(図3)や溝などが見つかりました。

中世の柱穴なども見つかり、掘立柱建物が何棟か建てられていたと考えられます。

3 西田2遺跡の調査成果(図7)

古墳時代の主な遺構では、方形周溝墓(図8・9)が2基見つかりました。北側の方は出土遺物



図1 調査区概要図

から古墳時代前期のものと言えます。もう一方は遺物が少なくはっきりしませんが、おそらく近い時期のものと考えられます。

鎌倉時代(13世紀頃)には、数多くの柱穴、土坑、井戸(図10・11)、溝、そして池状遺構(図12)が作られました。当地を領有した長井氏に近い人物の屋敷か、あるいは寺院だった可能性があります。今後詳しく調べていく予定です。

4 まとめ

両遺跡とも最近発見された遺跡でしたが、非常に多くの遺構や、方形周溝墓や池状遺構など珍しい遺構が見つかり、大きな調査成果が得られました。高島町の歴史に新たなページが付け加えられることになりそうです。



図3 井戸跡



図4 土器出土状況(土坑)



図5 掘立柱建物



図2 西田1遺跡空撮全景(約1/300)



図6 土器出土状況(溝)



图8 遺物出土狀況 (方形周溝墓東側)



图9 遺物出土狀況 (方形周溝墓西側)



图10 井戸枠出土狀況



图11 曲物出土狀況 (井戸)



图12 池状遺構

图7 西田2遺跡空撮全景 (約 1/400)